

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/09/07

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.67	0.09
JPY/THB	0.2568	-0.0034
USD/JPY	142.80	2.20
EUR/THB	36.32	0.00
EUR/USD	0.9904	-0.0025
USD/CNH	6.970	0.027
SGD/THB	26.06	-0.01
AUD/THB	24.70	-0.17
USD/INR	79.84	-0.01
USD Index	110.21	0.68

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.083	0.017
10Y (THB)	2.813	0.052
5Y (USD)	3.452	0.159
10Y (USD)	3.349	0.160

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,703.4	-9.6
WTI (Oil)	86.88	0.01
Copper	7,683.0	29.5

Stock

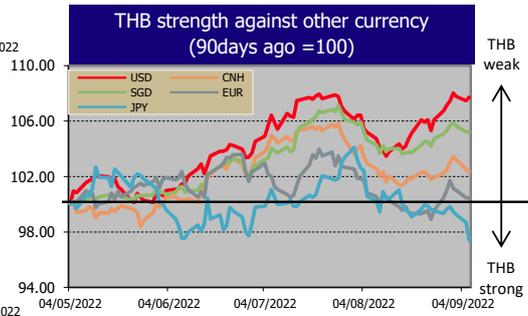
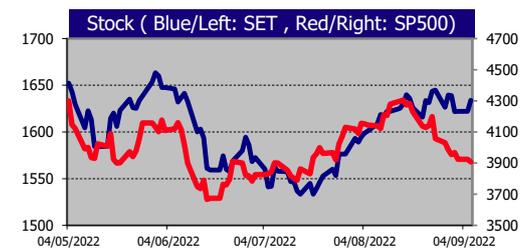
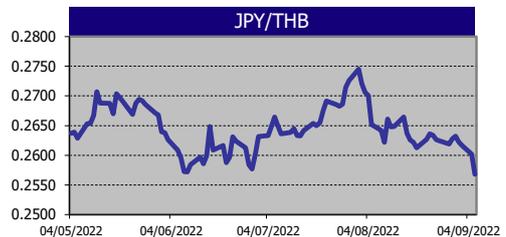
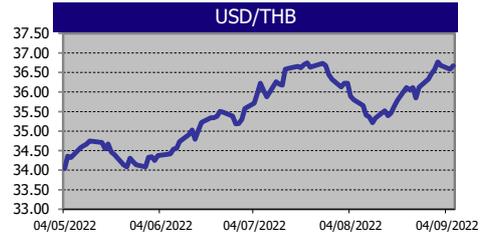
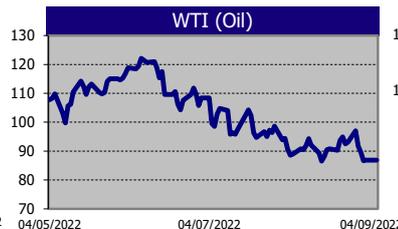
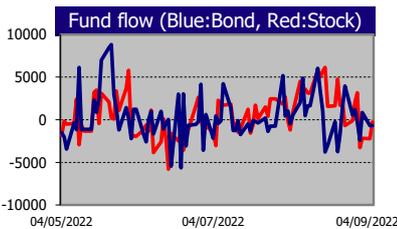
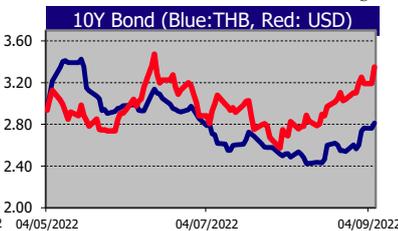
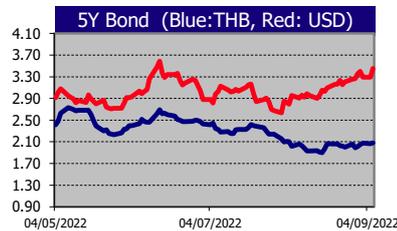
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,633.87	11.87
NIKKEI (JP)	27,626.51	6.90
DOW (US)	31,145.30	-173.14
S&P500 (US)	3,908.19	-16.07
SHCOMP (CN)	3,243.45	43.54
DAX(GER)	12,871.44	110.66

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(259)	1960.4
Bond net flow	(692)	0.0

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

前日のドルパーツは、36パーツ半ばで取引を開始。朝方はドル高が一服して下値を探る動きが入ったが、外部環境の不透明感に対する警戒は根強く、日中は36パーツ半ばで底堅く推移。海外時間、予想を上回る米経済指標と米金利上昇によるドル買いが強まり、ドルパーツは36.67と前日比パーツ安で引けた。

●ドル円その他

前日のドル円は140円半ばで取引を開始。仲値の発表にかけて一時140円前半へと下落したが、間もなく水準を戻し、米金利の上昇と共に141円前半へと上昇。海外時間、ドル円は糸の切れた風状態で米金利上昇に後押しされ142円台へ。その後も米8月ISM非製造業景況指数等が予想を上回る結果に金利上昇が顕著となると、遂に143円台まで到達。しかし、同水準では買い戻しが入り、142.80レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

米休日明けとなった昨日は、米金利上昇でアジア時間にドル円はさらに高値を更新、海外時間は米サービス業ISMや起債ラッシュを受けて金利上昇は継続しドル円も143円台まで上昇するなど、足許では米金利が各アセットクラスの動向に強く影響を与える状況が続いています。米金利が大きく動く要因は今月のFOMCに対する思惑が強いため、利上げ速度およびターミナルレートがどの水準になるかに注目が集まっています。本日はブレーナードFRB副議長、明日はパウエルFRB議長のスピーチが予定されておりFOMCコアメンバーによる雇用統計後かつブラックアウト期間前の内容は重要になります。ドルパーツも米金利の動きに合わせて動いているものの円ほどは米金利との相関は高くありません。どちらかというと、中国の人民元安対策(外貨預金準備率の引き下げやFixingの元高設定)を受けて高値から少し低下するなど中国ファクターが効いているのかと思います。その点からすると、本日の中国の貿易統計や中国大都市のロックダウン動向も注視したいです。(塩谷)